

# 横浜市感染症発生動向調査報告（令和5年3月）

## 《今月のトピックス》

- 梅毒は若い世代を中心に、幅広い年齢層で発生しています。
- インフルエンザは流行注意報が解除されました。A型が多く検出されています。
- 新型コロナウイルス感染症は減少～横ばいの傾向が続いています。引き続き今後の動向に注意が必要です。

### ◇ 全数把握の対象

＜3月期に報告された全数把握疾患＞

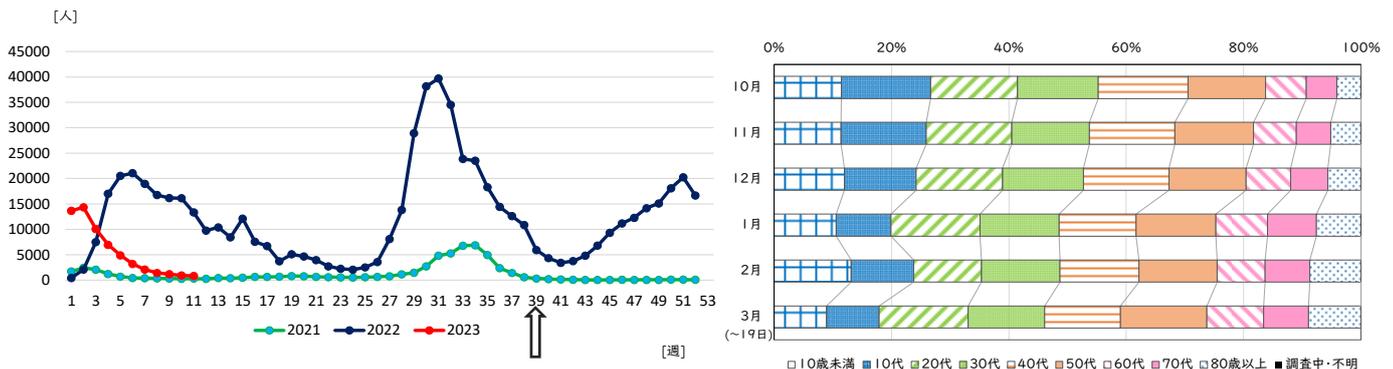
腸管出血性大腸菌感染症	4件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
E型肝炎	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
レジオネラ症	7件	水痘(入院例に限る)	1件
アメーバ赤痢	3件	梅毒	19件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8件	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1件	百日咳	1件
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件		

- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳代～50歳代で、血清群O157が2件、O26が1件、不明が1件です。経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が3件ありました。
- 2 **E型肝炎**:いずれも50歳代で、経口感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 3 **レジオネラ症**:60歳代～90歳代で、いずれも感染経路等は不明です。
- 4 **アメーバ赤痢**:40歳代～60歳代で、経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が2件ありました。
- 5 **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**:10歳代～80歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 6 **クロイツフェルト・ヤコブ病**:70歳代で、孤発例です。
- 7 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:70歳代～80歳代で、いずれも血清群A群です。創傷感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 8 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:20歳代で、感染経路等不明です。
- 9 **侵襲性肺炎球菌感染症**:60歳代～90歳代(ワクチン接種歴2回1件、無1件、不明3件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が4件ありました。
- 10 **水痘(入院例に限る)**:40歳代(ワクチン接種歴不明)で、感染経路等不明です。
- 11 **梅毒**:20歳代～60歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期8件、早期顕症梅毒Ⅱ期10件、無症状病原体保有者1件です。性的接触による感染と推定される報告が18件(異性間14件、異性・同性間1件、詳細不明3件)、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 12 **バンコマイシン耐性腸球菌感染症**:80歳代で、感染経路等不明です。
- 13 **百日咳**:20歳代(ワクチン接種歴無)で、感染経路等不明です。

### ◇ 新型コロナウイルス感染症(報道発表ベース)

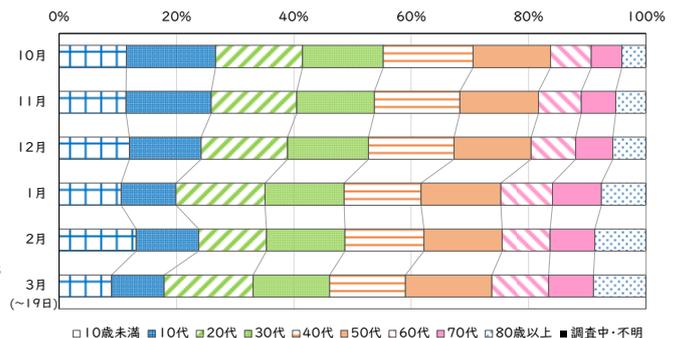
2023年第7週～第11週に横浜市から報道発表がありました症例は6,414件でした。

◆ 横浜市 新型コロナウイルス感染症関連データ <https://data.city.yokohama.lg.jp/covid19/>



1 報告数の推移

※ 2022年9月26日(第39週)より集計方法を変更しています(白抜き矢印)



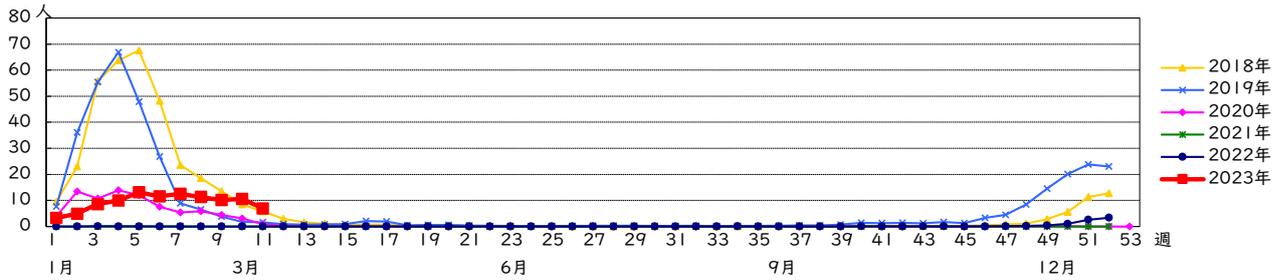
2 年齢層別患者割合

報告週対応表	
第7週	2月13日～ 2月19日
第8週	2月20日～ 2月26日
第9週	2月27日～ 3月 5日
第10週	3月 6日～ 3月12日
第11週	3月13日～ 3月19日

◇ 定点把握の対象

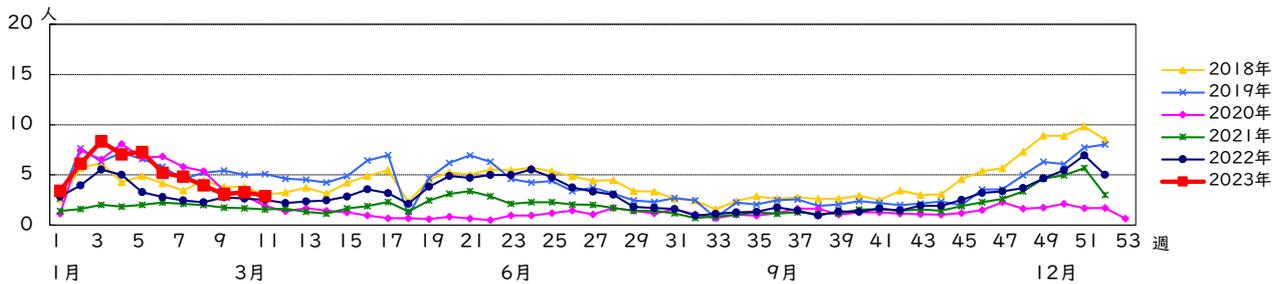
1 インフルエンザ:

2022年第46週以降増加し、第51週にインフルエンザ流行期に入りました。2023年第5週に13.07で流行注意報が発令され、以降横ばいで推移しましたが、第11週に6.87となり、流行注意報は解除となりました。第11週までの市内迅速キットの結果は、累計でA型99.2%、B型0.7%、A・B型ともに陽性0.1%と、A型が多く検出されています。(詳細は、横浜市インフルエンザ流行情報12号をご覧ください)



2 感染性胃腸炎:

2023年第3週に8.33でピークに達し、以降減少が続いています。第7週4.83、第8週3.94、第9週3.07、第10週3.29、第11週2.90と推移しています。



3 性感染症(2月)

性器クラミジア感染症	男性:31件	女性:23件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性: 3件	女性: 8件
尖圭コンジローマ	男性: 5件	女性: 6件	淋菌感染症	男性:15件	女性: 3件

4 基幹定点週報

	第7週	第8週	第9週	第10週	第11週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	<b>0.33</b>	0.00
無菌性髄膜炎	<b>0.33</b>	0.00	0.00	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	<b>0.33</b>	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(2月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	11件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	1件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-

【 感染症・疫学情報課 】

◇ 病原体定点からの情報

市内の病原体定点は、小児科定点:8か所、インフルエンザ(内科)定点:4か所、眼科定点:1か所、基幹(病院)定点:4か所の計17か所を設定しています。

検体採取は、小児科定点とインフルエンザ定点では定期的に行っており、小児科定点は8か所を2グループに分けて毎週1グループで実施しています。

眼科と基幹定点では、検体採取は対象疾患の患者から検体を採取できたときにのみ行っています。

〈ウイルス検査〉

3月期(2023年第8週～第11週)に病原体定点から搬入された検体は、小児科定点37件、内科定点8件及び基幹定点2件でした。

ウイルス分離27株及び各種ウイルス遺伝子10件が検出されています。

表 感染症発生動向調査におけるウイルス検査結果(2023年第8週～第11週)

主な臨床症状 分離・検出ウイルス	上気道炎	下気道炎	インフルエンザ	手足口病	胃腸炎
アデノウイルス2型	1 -				
アデノウイルス		- 1		- 1	- 1
インフルエンザウイルスAH3型			23 -		
インフルエンザウイルスB型(ビクトリア)			1 -		
コクサッキーウイルスA10型	- 1				
パラインフルエンザウイルス3型	- 2				
ヒトメタニューモウイルス	- 1				
ボカウイルス		- 1			
ライノウイルス	2 2				
合計	3 6	- 2	24 -	- 1	- 1

上段:ウイルス分離数 下段:遺伝子検出数

【 微生物検査研究課 ウイルス担当 】

## 〈細菌検査〉

3月期(2023年第7週～第11週)の「菌株同定」の検査依頼は、基幹定点からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌3件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、サルモネラ属菌1件でした。非定点からの依頼は、非結核性抗酸菌症(NTM)2件でした。保健所からの依頼は、腸管出血性大腸菌5件、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌5件、劇症型溶血性レンサ球菌1件、バンコマイシン耐性腸球菌1件でした。

「分離同定」の検査依頼は、非定点からレプトスピラ1件、保健所からレジオネラ属菌5件でした。

「小児サーベイランス」の検査依頼は咽頭炎・咽頭痛1件、腸炎1件でした。

表 感染症発生動向調査における病原体調査(2023年第7週～第11週)

菌株同定		項目	検体数	血清型等	
医療機関	基幹定点	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	3	<i>Enterobacter cloacae</i> complex (2)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)	
		劇症型溶血性レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 T22型 (1)	
		サルモネラ属菌	1	<i>Salmonella</i> Newport (1)	
	非定点	非結核性抗酸菌(NTM)	2	<i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>massiliense</i> (1)、 <i>Mycobacterium abscessus</i> subsp. <i>abscessus</i> (1)	
		腸管出血性大腸菌	5	O157:H- VT1 VT2 (1)、O157:H7 VT1 VT2 (1)、O157:H7 VT2 (1)、O26:H11 VT2 (1)、O8:H19 VT1 VT2 (1)	
		カルバペネム耐性腸内細菌科細菌	5	<i>Klebsiella pneumoniae</i> (3)、 <i>Klebsiella aerogenes</i> (1)、 <i>Klebsiella variicola</i> (1)	
保健所	劇症型溶血性レンサ球菌	1	A群溶血性レンサ球菌 TUT (1)		
	バンコマイシン耐性腸球菌	1	<i>Enterococcus faecium vanA</i> (1)		
	分離同定	材料	項目	検体数	同定、血清型等
医療機関	非定点	全血	レプトスピラ	1	レプトスピラ 陰性(Nested PCR) (1)
保健所		喀痰	レジオネラ属菌	5	<i>Legionella pneumophila</i> SG1 (2)、培養陰性 (3)
小児サーベイランス	材料	臨床症状	検体数	同定、血清型等	
小児科定点	咽頭ぬぐい液	咽頭炎、咽頭痛	1	溶血性レンサ球菌 不検出 (1)	
	直腸ぬぐい	腸炎	1	消化器系病原菌 陰性 (1)	

【 微生物検査研究課 細菌担当 】